

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	松阪市立掃水小学校
取組の名称	給食と食料自給率
実施時期	令和6年6月11日（火）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ ☒
取組内容	1. 対象者 5年生 26人 2. 単元 「わたしたちの食生活を支える食料生産」（社会科） 3. ねらい ・日本が食料の多くを外国からの輸入に頼っている理由に気付く。 ・学校給食は、できるだけ国産の食品を使っていることを知る。 ・食料自給率を高めていくことの大切さを考える。 4. 実施内容 5年生社会科の学習で、「食料自給率」について考えました。輸入が止まった場合の食事から、食料自給率の高い食べ物と低い食べ物を栄養教諭の先生から紹介してもらい、日本の自給率を知ること、日本がいかに関外国からの食料の輸入に頼っているかに気付くことができました。また、主要な食品消費量の変化から、食事のスタイルが和食から洋風化したことにより、食料自給率が変化した一つの要因であることに気付くことができました。最後には、給食での地産地消の取組（ちゃちゃもランチ）や和食を中心とした献立（和食の日）、旬の食材を使用しているなど、給食の取組について改めて確認することができました。 5. 取り組みの成果 「輸入が止まった時のご飯を見て、驚いた。日頃のご飯に感謝して食べようと思った。」「給食では松阪市や三重県のもの、国産が多くて工夫していると感じた。」「国産の物を意識して食べよう」と改めて思った。」等、児童それぞれが食料自給率を高めていくことや地産地消の大切さを考えることができました。

